

葦崎工高新聞

9月号

発行所
葦崎工業高校
新聞委員会

エコマイレージ チャレンジ2023

本田宗一郎杯 Hondaエコマイレージチャレンジ2023 第42回全国大会が9月9日から10日まで、モビリティリゾートもてぎ（栃木県）のオーバルコースで開催された。本校からは飯嶋香太郎さん（3年）が運転する3年生課題研究車両と遠藤巧真さん（3年）が運転するエコカー部車両の2台が出場し、課題研究車両が1リットルあたり635キロで17位、エコカー部車両が714キロで16位であった。

エコカー部車両 714キロで16位

1リットルの走行距離を競う



走行のための準備をするエコカー部員

競技は規定時間内に平均速度時速25キロ以上でコースを7周走行し、走行後のガソリン消費量を計測し燃費を算出する。1リットルのガソリンで何キロ走ることができるのか、燃費の限界にチャレンジする。今年の大会では高校生クラスに86台が参加し、そのうち44台が完走した。本校の2車両も完走し、よく健闘した。飯嶋さんは「練習走行

関東甲信越地区電気工事コンテスト山梨県予選が8月8日、甲府工業高校で行われ、本校からは電気科の伊志嶺歩さん（2年）が出場し、3位に入賞した。

電気工事の技術を競う

伊志嶺さん、3位入賞

伊志嶺さんは「夏休み中、毎日学校に来て、1日2回、コンテストを想定した練習を行った。タイムを縮めながら、正確にきれいな配線をするのが難しく大変だった」と振り返った。今後の抱負については「本番では大会の雰囲気にのまれ練習とおりの力を発揮することができず、悔いが残る大会となってしまった。来年は今年の経験を生かし、リベンジしたい」と意気込んだ。

全国高校生グレコ 3階級で入賞

鈴木選手が大会2連覇



65キロ級で2連覇を果たした鈴木飛来選手

つなぎを着ての運動は大変だった。今年はトラブルもなく、無事完走することができて良かった」と振り返った。

第39回全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会が8月17日から20日にかけて、ウカルチャ（アリーナ（滋賀県））で行われた。本校からは10人が出場した。結果は、65キロ級の鈴木飛来さん（3年）が優勝して、大会2連覇、55

級の高橋悠生さん（3年）が準優勝、60キロ級の中村真翔さん（3年）が3位、60キロ級の岡山章太郎さん（3年）が5位に入賞した。

選手のコメント

○65キロ級・鈴木飛来さん 「昨年に続き優勝し、全国大会2連覇ができて良かった。2年で優勝しているのがプレッシャーがある中で優勝はとても自信につながった。次の国体でもしっかりと勝って優勝したい」

○55キロ級・高橋悠生さん 「今回の大会では今までの練習の成果を出すことができた。大学でも練習に励み、さらには上の順位を目指せるように頑張っていきたい」

○60キロ級・岡山章太郎さん 「今回の大会では今までの練習の成果を出すことができた。大学でも練習に励み、さらには上の順位を目指せるように頑張っていきたい」

フードバンクに食品を届ける

葦崎工高フードドライブ



食品を搬入する生徒会役員

生徒会が7月28日、NPO法人フードバンク山梨に保護者の方々の協力で集まった食品を届けた。これは生徒会とPTA役員が中心となり、三者懇談期間中の7月13日から21日まで「葦崎工高フードドライブ」として、家庭にある食品などを集めた。

集まった食品の数は、段ボール箱で、主にスナック、レトルト食品、インスタント麺などであった。生徒会を代表して、フードバンク山梨に食品を届けた山口晴希さん（3年）は「食品を届けたい、フードバンクの方々にとっても感謝され、嬉しかった」と話した。また大久保祐也さん（3年）は「届けに行ったら、倉庫の中の食品が早く必要とする人の助けになれば嬉しい。10月にも実施を予定しているのでも、ぜひ協力をお願いしたい」と語った。

最近、日本でも、頻りに地震が起きている。私たち高校生が身近で知っている大地震は東日本震災、一番印象に残っているのは津波による被害だと思う。しかし、日本にはそれ以前にも数々の大地震が起きている。1923年9月1日に起きた関東大震災、発生して今年で100年になる。関東大震災での死者数は約10万5千人、その多くは火災によるものだ。地震が起きた時間は午前11時58分、ちょうど食事の準備で火を使っていた家庭が多かったことで、大規模な火災に発展した。また、その日は日本海沿岸を北上する台風による風が関東地方に吹き、当時は木造住宅が多く、密集していた市街地のほとんどが焼失してしまった。今、南海トラフ大地震が大きな話題となっている。大地震は2030年から40年の間に起こると言われている。まだ先だから大丈夫と思いがちだが、地震災害に対する備えは必要だ。関東大震災の教訓から、地震が昼時に起こることを想定した訓練もやっておいた方がよい。すぐに避難する訓練を日頃から行うことで、少しでも被害を抑え、自分自身の命も他者の命も救える。これから起こるかもしれない地震に備えた準備と生活をしていく必要がある。（遠藤陸）

ニラテク

最近、日本でも、頻りに地震が起きている。私たち高校生が身近で知っている大地震は東日本震災、一番印象に残っているのは津波による被害だと思う。しかし、日本にはそれ以前にも数々の大地震が起きている。1923年9月1日に起きた関東大震災、発生して今年で100年になる。関東大震災での死者数は約10万5千人、その多くは火災によるものだ。地震が起きた時間は午前11時58分、ちょうど食事の準備で火を使っていた家庭が多かったことで、大規模な火災に発展した。また、その日は日本海沿岸を北上する台風による風が関東地方に吹き、当時は木造住宅が多く、密集していた市街地のほとんどが焼失してしまった。今、南海トラフ大地震が大きな話題となっている。大地震は2030年から40年の間に起こると言われている。まだ先だから大丈夫と思いがちだが、地震災害に対する備えは必要だ。関東大震災の教訓から、地震が昼時に起こることを想定した訓練もやっておいた方がよい。すぐに避難する訓練を日頃から行うことで、少しでも被害を抑え、自分自身の命も他者の命も救える。これから起こるかもしれない地震に備えた準備と生活をしていく必要がある。（遠藤陸）

全国的に自転車事故増加 本校はヘルメット着用25%

4月から自転車に乗る人に対してヘルメットの着用が努力義務化された。ヘルメット着用の努力義務化となった背景には自転車による交通事故の増加、事故で死亡する人の6割が頭部損傷によるものからだ。新聞委員会では、本校における自転車の安全意識をどうか、調べてみた。(清田工)

ヘルメットの着用率

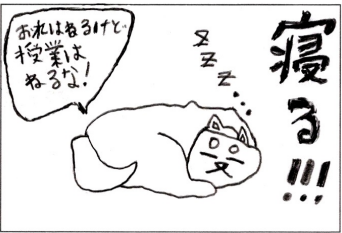
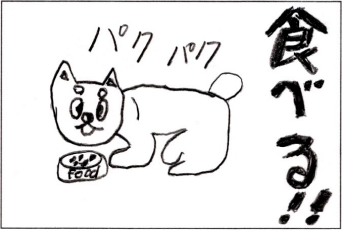
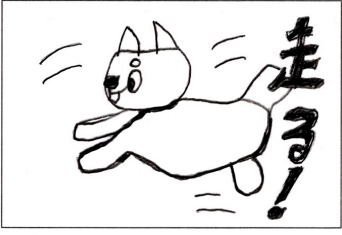
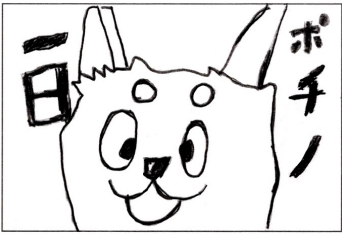
自転車に乗っている人、77人にヘルメット着用について聞いたところ、「着用している」が25%、「着用していない」が75%で、ヘルメット着用率は低かった。

着用していると答えた人の理由は、転んだ時に頭を守るため、努力義務化されたから。着用していない人の理由は面倒だから、暑いから、努力義務だから、目的地に着いたあと持ち歩くのが大変なためであった。

自転車保険への加入

損害賠償責任保険の加入状況については、「加

ポチの1日



安全な自転車の乗り方

安全な自転車の乗り方として必要でかつ身近なルール5項目、①左側通行 ②イヤホン等を使用しながらの運転、③携帯電話を使用しながらの運

自転車事故10件

本校における、4月から9月12日までの自転車事故は10件。事故は4月に多く、信号無視の車との接触、左折自動車の巻き込みによる事故などで、打撲、すり傷のけがを



私たちが作りました (阿部さんと山下さん)

葦崎市ふるさと納税 SNSのバナー作りました!

葦崎市と高校生との事業連携の一環で、情報技術科の阿部さくらさんと山下花琳さん(ともに3年)が3月に、葦崎市ふるさと納税の公式SNSのバナーを作成し、このほどアップされた。作成したのは、ツイッター、インスタグラム、ノートなどのバナーで、スマートフォンのイラストアプリを使用して、大小8種類を作成した。

阿部・山下「作る中で大変だったことは、各ページのイメージに合ったイラストや文字などのデザインを工夫したところです。葦崎市を連想する果物などを取り入れてみました」阿部「自分たちのデザインしたバナーが実際に使われているのは不思議な感じ。葦崎市の魅力を改めて感じるきっかけになりました」山下「葦崎市の魅力は自然豊かで、景色がきれいなところです。ぜひ、葦崎市で自然を満喫してください」(阿部・山下)

車事故が増加している。多くの生徒が通学で使用する自転車、ルールを守り、安全に乗りたいたいところ。そのための予防策として、頭部を守るヘルメットの着用、いざという時のための損害賠償責任保険への加入、常に自転車の整備をしておくことが必要とされる。

「ヒヤリはつと」の事例

自転車に乗っている時に気をつけたい事例です。

- 右側通行の自転車とぶつかりそうになった。
- ウィンカーを出さないで曲がる車とぶつかりそうになった。
- 歩行者が飛び出してきた。
- 曲がり角で急に車が出てきた。
- 車側の信号無視でぶつかりそうになった。
- 夜、ライトをつけない自転車。
- 道路の段差で転びそうになった。

SDGsの取り組み紹介 ソフトテニス部編

SDGs(持続可能な開発目標)、地球が抱える問題を解決するために、あなたはどのような取り組みを行っていますか?今回はソフトテニス部員の取り組みを紹介します。(小畑)

- ☆募金をしている。(小畑翼)
- ☆買った食材はその日のうちに食べる。(石部洸希)
- ☆ポイ捨てをしない。(澤登太祐)
- ☆全ての人に平等に接する。(堀内智秋)
- ☆どのような街か住みやすいか、ネットで調べている。(宮澤愛琉)

教育実習を終えて〜先輩から後輩へ〜

「学んでいる大学はどんなですか。」「日本体育大学」大学でこんなことを学んでいますか。」「体育学部体育学科、競技スポーツ、トレーニング学やコーチング学、スポーツ心理学を学んでいます。」「大学へ行くことにしたきっかけは。」「競技の継続・強化と教員免許取得のため」高校の部活動は。」「レスリング部」高校時代の思い出は。」「部活動、友だちとテスト勉強ほどの

毎日を大切に、楽しく過ごしてほしい

「先輩が高校生の時の葦崎はどんな学校でしたか。」「詳しく覚えていませんが、資格は3つくらい取りました。就職に有利な資格はできるだけ取っておいた方がいいと思います。ちなみに、計算技術検定の4級から2級の飛び級に調子に乗ってチャレンジし、受けた生徒の中で唯一僕だけが落ちました。今でも忘れません。」「はい。自衛隊へ行きませう。」「私たち、生徒(後輩)にアドバイスをお願いします。」「高校3年間はあっという間に過ぎるので、生活にメリハリをつけ、毎日を大切に、そして楽しく過ごしてください」



教育実習生 矢部 晴翔先輩 (22歳) システム工学科 令和元年度卒業 趣味は読書、BBQ、グルメ探索。好きな言葉は「楽は苦の種 苦は楽の種」理由は、苦しい時でも頑張れるから。

編集後記

○初めて漫画を担当。漫画を描くためには、想像力が必要だと思った。良い経験になった。漫画が苦手なので、画力をあげていきたい。○自転車の調査、どのくらい交通ルールを守っているのかを知ることができた。自分の意識改善につながった。

編集担当

○記事担当 山本花琳(阿部さん)、飯嶋香天(遠藤さん)、(3年)、遠藤陸、小畑翼、小林健司、清田ユキオ(2年)、望月秀一(1年) ○四コマ漫画担当 清田ユキオ(1年) ○パンコン担当 長田空(3年)